

豪雨災害の歴史と日本人

－ 水害・土砂災害との共存を目指すために －

主催 公益社団法人日本地震工学会

後援: 日本地震学会、土木学会、日本建築学会、地盤工学会、日本機械学会、
日本火山学会、歴史地震研究会

最近、広島はじめ各地で記録的豪雨による山崩れや土石流によって多数の人命が失われている。日本列島に住むものにとって宿命ともいべき水害・土砂災害を、歴史上日本人はどのように凌いできたのか。江戸時代から明治にかけての人々の苦勞とその経験が我々に残してくれたものは何か。具体的な大災害を例に考える。その上で、近年頻発する土砂災害の特徴を整理し、横浜、横須賀、鎌倉など傾斜地に多くの人口を抱える首都圏で、我々市民のとるべき対策のヒントを得ることを目的に講演会を企画する。

日時: 2015年2月6日(金)13:00~16:30

場所: パシフィコ横浜・アネックスホール(横浜市西区みなとみらい1-1-1)

1. プログラム: 13:00~16:30

司会 宮腰淳一 (震災予防講演会WG委員長・清水建設(株)技術研究所)

開会挨拶 安田 進 (日本地震工学会会長・東京電機大学教授)

(1) 300年前に始まる大水害との戦いの跡を巡る: 富士山宝永噴火と酒匂川

武村雅之 (名古屋大学減災連携研究センター 教授)

(2) 紀伊山地で、明治、昭和そして平成に起きた水災

諏訪 浩 (東京大学空間情報科学研究センター 客員研究員)

(3) 地域を知り、防災を考える: 近年の豪雨災害事例から学ぶこと

牛山素行 (静岡大学防災総合センター 教授)

(4) 質疑応答

2. 資料代: 1,000円

3. 定員: 150名(先着順)

4. 申込方法: 参加申込書に記入の上、メール(又はFAX)にてお申し込みください。

参加証はメールにてお送りいたします。当日、参加証をお持ちいただき、資料と引き換えてください。

5. 申込み・問合せ先: 日本地震工学会事務局

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館

電話 03-5730-2831 FAX 03-5730-2830

e-mail: office@general.jaee.gr.jp

第5回 震災予防講演会 講師紹介



武村 雅之 (たけむら まさゆき) 理学博士

1976年3月 東北大学理学部地球物理学科 卒業
1981年3月 東北大学大学院理学研究科博士課程修了
1981年4月 鹿島建設(株) 技術研究所入所
1986年4月 同 小堀研究室へ異動
2010年4月 同 小堀鐸二研究所副所長
2012年4月 名古屋大学減災連携研究センター教授
この間、日本地震学会、日本建築学会、土木学会、日本地震工学会の副会長、理事、委員、中央防災会議専門委員、などを務める。現在、歴史地震研究会会長、静岡大学客員教授。

受賞歴：2007年 日本地震学会論文賞受賞、2012年日本地震工学会功績賞受賞、
2013年日本建築学会著作賞受賞他

専門分野：地震学

主な著書：「関東大震災を歩く：現代に生きる災害の記憶」(吉川弘文館、2012)
「未曾有の大災害と地震学：関東大震災」(古今書院、2009)
「地震と防災」(中公新書、2008)、「天災日記：鹿島龍蔵と関東大震災」(鹿島出版会、2008)、「手記で読む関東大震災」シリーズ日本の歴史災害 第五巻 (古今書院、2005)、「関東大震災―大東京圏の揺れを知る」(鹿島出版会、2003)
「地震の揺れを科学する― みえてきた強震動の姿」共著 (東大出版会、2006)



諏訪 浩 (すわ ひろし) 理学博士

1970年3月 京都大学理学部地球物理学科卒業
1945年3月 同上 理学研究科地球物理学専攻博士課程単位取得退学
1975年5月 京都大学防災研究所 助手
1989年6月 同 助教授、のち准教授、2010年3月定年退職
現在 東京大学 空間情報科学研究センターおよび立命館大学 歴史都市災害研究所客員研究員

専門分野：地すべりや土石流などの地球物理学的・陸水物理学的研究および災害の調査等

主な著書：「京都の歴史災害」(共著、思文閣出版、2012)
「昭和28年有田川水害」(共著、古今書院、2006)、
「土石流：ジオテクノート12」(共著、地盤工学会、2003)
「地すべりと地質学」(共著、古今書院、2002)



牛山 素行 (うしやま もとゆき) 農学博士・工学博士

信州大学農学部卒業

東京都立大学客員研究員、京都大学防災研究所助手、東北大学災害制御研究センター講師、岩手県立大学総合政策学部准教授などを歴任し、現在は静岡大学防災総合センター教授。

専門分野：自然災害科学および災害情報学

豪雨災害・津波災害を中心として、全国各地の災害時の現地調査に取り組み、災害情報の利活用や避難行動などの調査研究を行っている。

主な著書：「防災に役立つ地域の調べ方講座」（古今書院、2012）

「豪雨の災害情報学 増補版」（古今書院、2012）